



PTA主催による春の恒例行事、自転車交通安全教室が開催され、おやじの会では設営等をはじめとしたお手伝いを行いました。外は生憎の雨でしたが、低学年を中心とする多くの児童が参加、大崎警察署のお巡りさんによる講習を熱心に聞いていました。

PTA自転車交通安全教室支援（5月28日）

台風が近付いている雨模様の第三日野小学校に、ミニパトに乗った三名のお巡りさんがやってきました。毎年春に開催している自転車教室では、大崎警察署のお巡りさんが、自転車で街を走るときの心得などを、懇切丁寧に説明してくれます。その前におやじたちが、お巡りさんの指示に従いながら、体育館に街を作り上げていきました。



最初に道路が開通し、その後、信号のある交差点、見通しの悪い交差点、横断歩道、路上の障害物などなど、瞬く間に、体育館が小さな街へと変身しました。コースの説明をする婦人警察官のお話も、みんな真剣に聞いていました。



路上に障害物（駐車車両、工事など）がある場合には、後ろから車がきていないことを確かめてから、障害物をよけて通ります。また酔っぱらっているおやじがふらふら歩いているような場合にも、通行には注意が必要です。安全な自転車の乗り方をマスターした良い子には、大崎警察署からお土産が配られました。大崎警察署の皆さん、ありがとうございました。

《編集後記》

今年の梅雨入りは例年より二週間近く早く、この日も残念ながらの雨。白バイの試乗会は実現しませんでしたでしたが、ミニパト体験は少しだけできたようです。パトカーに乗る機会などは滅多にありませんが、乗った経験を持つおやじは結構いるみたいです。くわばらくわばら。（文責山田）